

えひめ 地域づくり協働体通信

平成28年度地域活動組織構築サポート事業の舞台となった伊方町豊之浦地区について、伊方町地域おこし協力隊の竹山和宏さんから、「溢れ出る住民のエネルギー」と題しまして、事業の経過、感じたことなどをレポートしていただきます。皆さまの地域活動の参考にいただければ幸いです。

伊方町豊之浦（とよのうら）地区

キーワード：地域内交流、地域伝統継承

●はじめに

現在、社会問題となっている人口減少や少子高齢化の波は、豊之浦地区にも押し寄せています。2009年には豊之浦小学校が廃校となり、地域行事も減少・衰退したことから、地域の活性化が喫緊の課題となっています。そこで、地域住民自らが集落の現状を把握し、課題解決に向けた取り組みを話し合っって活性化計画を考えました。地域の将来像を踏まえた自主的な活動を実施し、元気な集落づくりを積極的に進めると共に、地域資源を活用した協働・共助によるコミュニティの構築を目指しています。

本報では、1年間の活動内容、活動を通して得られたことを報告します。

●共に笑うこと

豊之浦集会所にて、「料理教室」と「交流会」を実施しました。郷土料理である「小トロ鍋」や豊之浦地区発祥の「じゃこカツ」を地域の先輩方に習いながら、楽しく料理しました。出来上がった美味しい料理を食事することで笑顔が溢れ、地域の将来に関する会話も弾み、活気に満ち溢れていました。50名の参加者となり、大いに盛り上がりを見せました。



料理教室で作った「小トロ鍋」



真剣な話し合いや時には昔話に花が咲く場面も！話し合いが出来る機会は貴重です！



●共に考えること

「未来に向けた地域づくり」の話し合いを計5回開催しました。毎回多くの地域住民が出席されることから、活性化への意識の高さが伺えます。はじめに現状の課題、過去の行事を掘り起し、抽出し、実行可能かの判断を行いました。過去の楽しかった思い出はいつになっても鮮明です。これから、過去の思い出にプラスされて新たな思い出が増えていけば、と心から望みます。

年度終わりには、1年間活動してきて感じたことをまとめ、積極的に意見交換を行いました。そして、次年度に向けて、多くの議論がされました。

●共に学ぶこと

愛媛県下で集落づくりを積極的に行っている地域を視察し、活動を学ぶ研修を実施しました。愛南町緑地区では官民一体となった「まるごと緑」体制について、宇和島市津島町岩松地区では「岩松町並み保存会」の講演を聞きました。移動中のバスでは、講演から感じたこと、豊之浦地区への応用など、多くの話で盛り上がりました。この会話から、今後更に地域が活性化していく可能性を強く感じました。

●最後に

地域住民から生まれるエネルギーは計り知れず、私では到底想像に及びません。一気に燃え上がるエネルギーもあれば、細長く暖かく燃え続けるエネルギーもあります。それらのエネルギーをサポートできる体制作りが求められていると強く感じました。そして、行政の一員であると同時に、地域住民の一人であることを再認識した、そんな素敵な時間でした。

来年は、どんな美味しい料理が食べられるのか！？今から楽しみです！！

この情報誌の関係サイト/「えひめ地域づくり協働体」 [Facebook](#)

●地域の活動情報の連絡先/この情報誌に関するお問合せ先

愛媛県企画振興部地域政策課

TEL: 089-912-2236

E-mail: chiikiseisak@pref.ehime.jp

(公財)えひめ地域政策研究センター

TEL: 089-926-2200

E-mail: info@ecpr.or.jp